

海岸漂着ごみモニタリング調査業務の結果について

1. 調査日 令和2年12月23日（水曜日）
2. 調査地点 泉南郡岬町淡輪付近の海岸 1箇所



図-1 海岸漂着ごみの調査地点

3. 調査方法

- ・汀線（海水面と海浜との境界線）方向の幅 50m、海岸汀線から堤防までの間を調査範囲とし、長さ 2.5 cm 以上のごみを調査対象として回収（下記の図参照）
- ・回収したごみを分類表に基づいて分類し、個数、重量、容積を調査

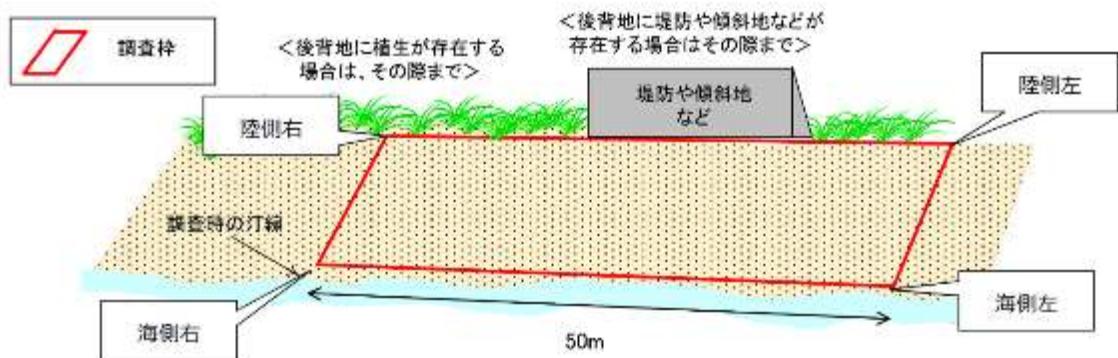


図-2 調査方法のイメージ図

4. 調査結果

①分類別の組成

- ・重量別、容量別で自然物（流木、灌木*）が約 70%を占めていた。
- ・人工物の大分類で見ると、「プラスチック・発泡スチロール」が重量別で 62%、容量別で 83% 個数別で 93%を占めていた。

*径 10 cm以上、長さ 1m 以上のものを流木、未満のものを灌木としている。
灌木については個数をカウントしていない。

表-1 2分類別の組成表

項目	重量 (kg)	容量 (L)	個数 (個)
人工物	3.1	30.8	321
自然物	6.4	67.8	1
合計	9.5	98.5	322

表-2 人工物の大分類別の組成表

項目	重量 (kg)	容量 (L)	個数 (個)
プラスチック・発泡類	1.9	25.5	297
天然繊維・革	0.0	0.1	2
ガラス・陶器	0.7	1.2	0
金属	0.2	1.6	14
紙・段ボール	0.3	2.1	4
ゴム	0.0	0.3	4
木・木材系	0.0	0.0	0
電化製品・電気機器	0.0	0.0	0
その他	0.0	0.0	0
人工物合計	3.1	30.8	321

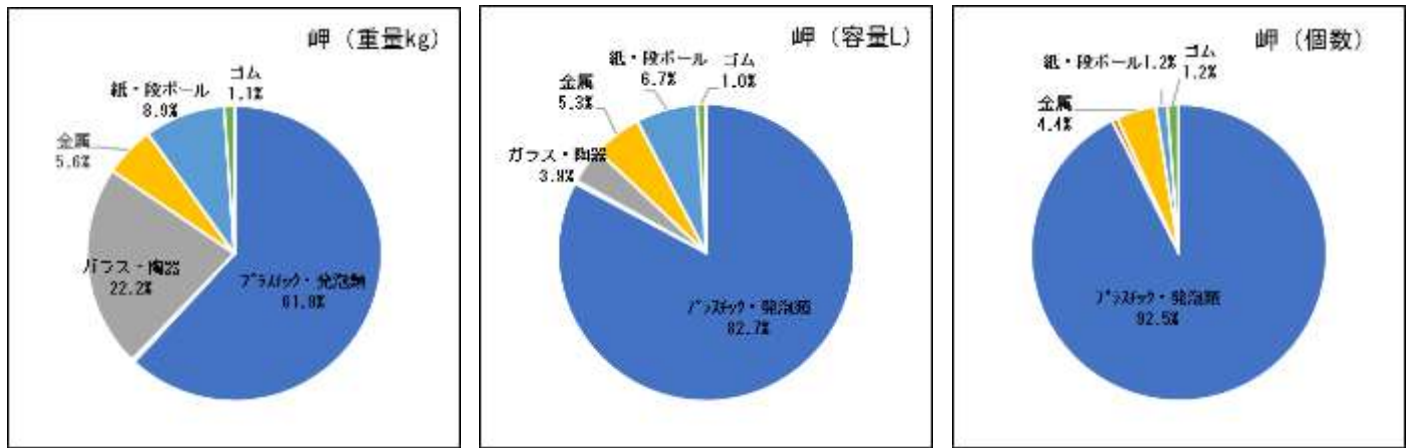


図-3 人工物の大分類別の組成割合（重量、容量、個数）

②プラスチック・発泡スチロール類の組成

- ・「容器包装」、「製品」、「漁具」の3項目で分類すると、重量別、容量別で「製品」の割合が一番多く、個数別で「容器包装」の割合が一番多かった。
- ・細分類別の個数で見ると、容器類（調味料容器等）や飲料用以外のプラボトル、ポリ袋、カトラリー等陸域での日常生活で発生するものや、漁網やロープなど漁業活動に関係するものが多く見られた。

表-3 プラスチック・発泡スチロール類の分類別組成

分類	重量 (kg)	重量 (%)	容量 (L)	容量 (%)	個数 (個)	個数 (%)
容器包装	0.7	37.2%	10.1	39.7%	167	56.2%
製品	0.9	47.9%	11.0	43.3%	75	25.3%
漁具	0.3	14.8%	4.3	17.0%	55	18.5%
合計	1.9	100.0%	25.5	100%	297	100%

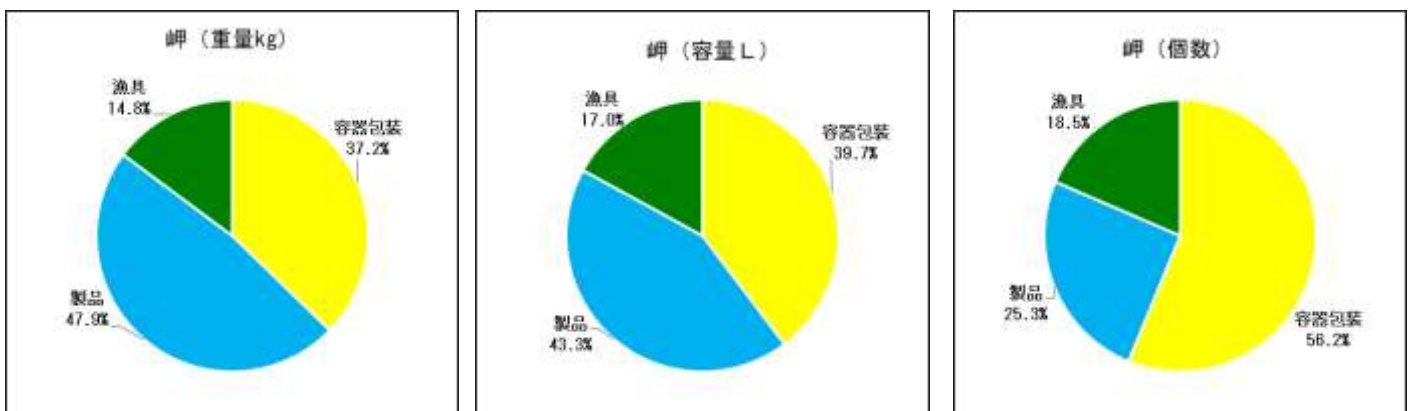


図-4 プラスチック・発泡スチロール類の分類別組成（重量、容量、個数）

表-4 プラスチック・発泡スチロール類の細分類別組成

	分類	重量 (kg)	容量 (L)	個数 (個)
容器包装	飲料用ボトル	0.36	2.7	5
容器包装	その他プラボトル類（ボトルキャップ、フタ）	0.13	1.0	50
容器包装	容器類（調味料容器、トレイ、カップ等）	0.08	2.2	81
容器包装	ポリ袋	0.14	4.2	31
漁具	漁網、ロープ	0.09	1.2	27
漁具	ブイ	0.00	0.0	0
漁具	発泡スチロールブイ	0.00	0.0	0
漁具	その他漁具（カキ養殖用マメ管、釣糸、ルアー等）	0.19	3.1	28
製品	カトラリー（ストロー、フォーク、スプーン、ナイフ、マドラー）	0.03	0.1	27
製品	その他プラスチック（ライター、テープ、硬質プラスチック破片等）	0.88	10.9	48
	合計	1.90	25.5	297

5. 過年度との比較

- 環境省が過去に調査した調査結果と比べると、重量、容量ともに減少しているが、個数については322~455個と各年で変動していた。

表-5 過年度調査結果との比較

項目	H27			H30			R2		
	重量 (kg)	容量 (L)	個数 (個)	重量 (kg)	容量 (L)	個数 (個)	重量 (kg)	容量 (L)	個数 (個)
人工物	29.4	177	343	28.1	270	446	3.1	31	321
自然物	98.9	331	16	13.7	150	9	6.4	68	1
合計	128.3	508	359	41.8	420	455	9.5	99	322

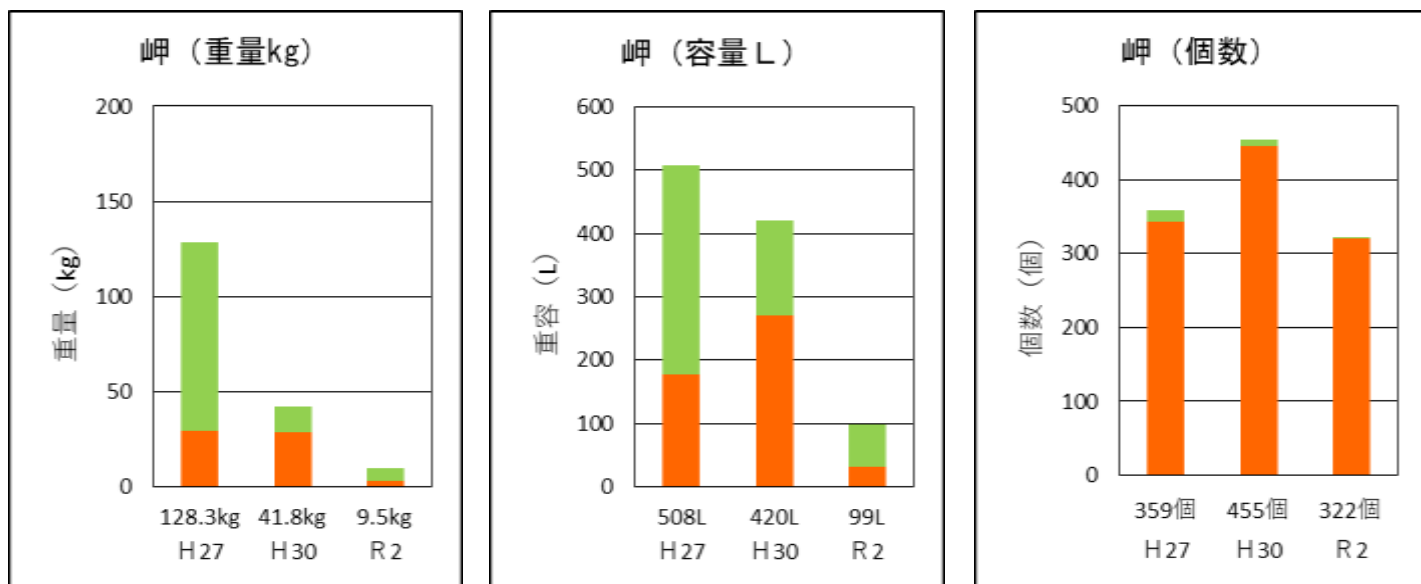


図-5 過年度調査結果との比較

漂着ごみ データシート②

都道府県名: 大阪府
 実施者: 復建調査設計株式会社
 調査海岸: 岬町淡輪地区 松長自然海岸
 調査実施日: 2020 年 12 月 23 日 ~ 12 月 23 日
 調査開始時刻: 10 時 00 分
 調査終了時刻: 11 時 00 分
 回収作業人数: 5 人

調査海岸の奥行き: 5 m
 海岸基質: 砂浜 礫浜 礫浜 その他()
 調査地点 中心点: N 34° 19' 52.5" E 135° 09' 45.2"
 ※小数点第2位まで記載(例: N 35.00, E 135.00)
 清掃: 3ヶ月以内に実施 1年以内に実施
 台風・豪雨: 1ヶ月以内 3ヶ月以内
 重機の使用: 無 有 (バックホウ 台、ユニック 台 その他())
 奥行き方向の回収範囲 全範囲 一部範囲 (m)

大分類	必須項目	オプション項目	個数	容積(L) ※	重量(kg) ※	
プラスチック	ボトルのキャップ、ふた	ボトルのキャップ、ふた	50	1.008	0.13	
	ボトル	飲料用(ペットボトル) < 1L	飲料用(ペットボトル) < 1L	5	2.65	0.357
		その他のプラボトル < 1L	その他のプラボトル < 1L			
		飲料用(ペットボトル) ≥ 1L	飲料用(ペットボトル) ≥ 1L			
		その他のプラボトル類 ≥ 1L	その他のプラボトル類 ≥ 1L			
		ストロー	ストロー	23	0.05	0.018
	マドラー、フォーク、ナイフ、スプーン等	マドラー、フォーク、ナイフ、スプーン等	4	0.05	0.01	
	食品容器(ファーストフード、コップ、ランチボックス、それに類するもの)					
		カップ、食器 食品容器		28	2.016	0.056
	ポリ袋(不透明、透明)					
		食品の容器包装 レジ袋		27	1.6128	0.037
		その他プラスチック袋		2	1.008	0.04
	ライター	ライター	1	0.02	0.01	
	シリンジ、注射器	シリンジ、注射器				
	テープ(荷造りバンド、ビニールテープ)	テープ(荷造りバンド、ビニールテープ)	30	0.6048	0.019	
	シートや袋の破片	シートや袋の破片		1.6128	0.04	
	硬質プラスチック破片	硬質プラスチック破片		2.6208	0.397	
	ウレタン	ウレタン	3	0.6048	0.06	
	浮子(フイ)(漁具)	浮子(フイ)(漁具)				
	ロープ、ひも(漁具)	ロープ、ひも(漁具)	27	1.2096	0.093	
	アナゴ筒(フタ、筒)(漁具)	アナゴ筒(フタ、筒)(漁具)				
	カキ養殖用まめ管(長さ1.5cm)(漁具)	カキ養殖用まめ管(長さ1.5cm)(漁具)	15	0.1	0.01	
	カキ養殖用パイプ(長さ10-20cm)(漁具)	カキ養殖用パイプ(長さ10-20cm)(漁具)				
	漁網(漁具)	漁網(漁具)				
	その他の漁具(漁具)					
		釣りのルアー・浮き		8	0.4032	0.098
		かご漁具				
		釣り糸		5	1.4112	0.052
		その他の漁具				
	その他					
たばこ吸殻(フィルター)			5	0.05	0.002	
生活雑質(歯ブラシ等)						
花火						
玩具			2	0.05	0.003	
プラスチック梱包材			1	2.6208	0.228	
6バックホルダー						
苗木ポット						
マスク			1	0.05	0.006	
分類に無いもので多数見つかった場合には記載(ビニール傘の傘部分のみ)			1	1.828	0.094	
その他			3	0.8064	0.018	
発泡スチロール		コップ、食品容器				
		食品容器(発泡スチロール)	53	0.2016	0.028	
		コップ、食器(発泡スチロール)				
	発泡スチロール製フロート、浮子(フイ)	発泡スチロール製フロート・浮子(フイ)				
	発泡スチロールの破片	発泡スチロールの破片		1.2096	0.029	
	発泡スチロール製包装材	発泡スチロール製包装材	2	1.6128	0.06	
その他						
	分類に無いもので多数見つかった場合には記載() その他		1	0.05	0.006	

※ 少なくとも「個数及び容積(L)」または「個数及び重量(kg)」を計測する。可能であれば、「個数・容積(L)・重量(kg)」すべて計測する。

大分類	必須項目	オプション項目	個数	容積(L) ※	重量(kg) ※
ゴム	ゴム	タイヤ			
		玩具、ボール	3	0.1	0.013
		風船			
		靴(サンダル、靴底含む)	1	0.1	0.006
		ゴムの破片		0.1	0.015
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載() その他			
ガラス、陶器	ガラス、陶器	建築資材			
		食品容器			
		ガラス、陶器の破片		1.2096	0.683
		食品以外容器			
		コップ、食器			
		電球			
		蛍光管			
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載() その他			
金属	金属	ビンのふた、キャップ、フルタブ	4	0.1	0.005
		アルミの飲料缶	3	0.97	0.071
		スチール製飲料用缶	2	0.37	0.068
		金属製コップ、食器			
		フォーク・ナイフ・スプーン等			
		その他の缶(ガスボンベ、ドラム缶、バケツ等)			
		金属片			
		ワイヤー、針金			
		金属製漁具	2	0.05	0.003
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載()			
		その他	3	0.15	0.024
紙、ダンボール	紙、ダンボール	紙製コップ、食器			
		タバコのパッケージ(フィルム、銀紙を含む)			
		花火			
		紙袋			
		食品包装材			
		紙製容器(飲料用紙パック等)	2	0.25	0.048
		紙片(段ボール、新聞紙等を含む)			
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載(紙オムツ その他	1	1.4112	0.139
天然繊維、革	天然繊維、革	ロープ、ひも			
		マスク	1	0.05	0.005
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載()			
		その他	1	0.05	0.005
木(木材等)	木(木材等)	木材(物流用パレット、木炭等含む)			
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載()			
		その他			
電化製品、電子機器	電化製品、電子機器	電化製品、電子機器			
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載()			
		その他			
自然物	自然物	灌木(植物片を含む、径10cm未満、長さ1m未満)		65.205	5.51
		流木(径10cm以上、長さ1m以上)	1	2.5594	0.875
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載()			
		その他			
その他	その他	その他1()			
		その他2()			
		その他3()			

※ 少なくとも「個数及び容積(L)」または「個数及び重量(kg)」を計測する。可能であれば、「個数・容積(L)・重量(kg)」すべて計測する。

6. 調査状況写真

①ごみの回収状況



②組成調査状況





食品容器



食品の容器包装



硬質プラスチック破片



ウレタン



発泡スチロール破片



灌木